久山年神社社報 たよしの杜

第四号

宮司　本田孝裕

『神社の役割①
ー神社の元気は町の元気ー』

皆さんは神社と聞いて何をイメージするでしょうか？「神様にお願いごとをする場所」でしょうか？　それとも「心を落ち着かせる癒しの場所」でしょうか？　どちらも正解ですが、神社には他にも役割があります。『地域のコミュニティーの場所』という役割です。

もともと戦前までは、神社は「地域の人々が集まり話し合いをする場所」というコミュニティーの役割を担っていました。今で言う公民館的な場所だった訳です。

『社会』という言葉がありますが、社（やしろ）で会うと書きます。この社とは文字通り神社の事で、これが社会という言葉の語源です。

それが戦後、ＧＨＱによる神道指令により神社で会議をする事が禁じられ、全国に公民館というものが建てられるようになりました。

さて、時代は変わって令和の御代になりました。

「話し合いの場所」という役割はほとんど無くなりましたが、現在でも神社は「祭り」を通じて地域のコミュニティーを担う役割を有しています。

大なり小なり神社の祭りがあれば、そこには人や情報の交流があります。人々が交流している姿を見て神様はお喜びになるのです。言い換えれば神社の元気の素です。人々もまた、祭りにより活力を得ます。その元気や活力を基にして祭りが活発になるほど、さらに交流が増えます。たくさんの交流は、人々の心の繋がりを強くします。人々の繋がりが強くなれば、それがやがて地域全体の元気に繋がっていきます。神社の祭りを基本にして町が活性化していく・・・これが神社の御利益なのです。

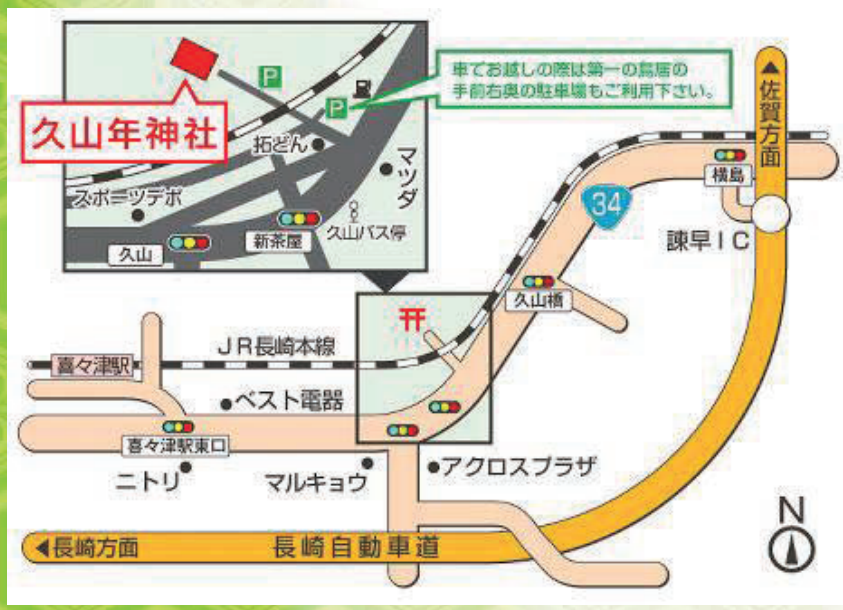
『神社の元気は町の元気！　地域の活性化は神社から！』この言葉を支えに全国の神主さんはそれぞれの神社で頑張っています。神社を地域の繋がりや活性化に利用して頂けるのなら、神職としてこれ以上の喜びはありません。

今年も十月に久山年神社の例大祭（久山くんち）が行われます。どうぞ当社のお祭りにもたくさんの方にお越し頂けたらと存じます。

久山年神社例大祭（久山くんち）

日時　10月6日（日）午前9時～
場所　久山年神社 境内

その技は「中国の第一級 国家機密」と言われる変面！
演舞は なかなか見られません。ぜひお越し下さい。



駐車場はありますが、数に限りがありますので、
出来るだけ乗り合わせてお越し下さい。

お問い合わせは
久山くんち実行委員会
（久山公民館内　電話 0957−26−1206）
または **久山年神社まで**

【プログラム】

午前9:00～ **例大祭神事**

午前10:00～ 開式

・子供書道展表彰式

・くやまえん園児
「こども龍踊り」

・**陸上自衛隊 竹松部隊**
「竹松ホーク太鼓」

・**中国伝統芸能**
「変面」 演舞

「久山町子ども会」
「久山町婦人会」
「与支の会」
など出演多数！

・**奉納こども相撲大会**

・ラッキー抽選会

・紅白餅まき

出店もあるョ♪

やきとり・やきそば
フランクフルト
おにぎり・ラスク
ジュース・缶ビール

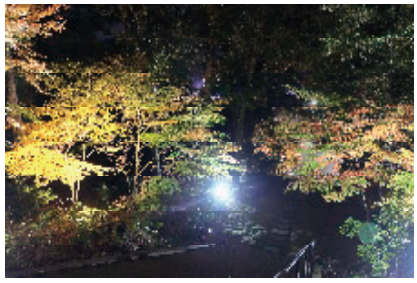
今年も秋のライトアップ実施します！

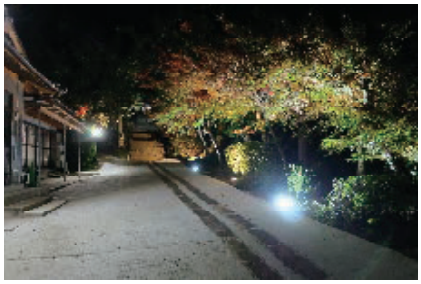
昨年から始めました秋のライトアップを、今年も実施します。秋の夜長は神社までお散歩してみませんか？　すごく綺麗でインスタ映え間違いなしです！

〈期間〉十一月一日～
十一月末日まで（予定）

〈時間〉日没～午後十一時まで

※紅葉の色付き具合や散り具合により期間が前後する場合があります。
詳しくは神社へお尋ねください。





【田祈祷祭 恙なく終了】

六月十六日に、今年の田祈祷を恙なく斎行致しました。

本年は、観測史上いちばん遅い梅雨入りとのことで水不足が懸念されましたが、直後にまとまった雨も降り、稲もすくすくと成長しているようです。

秋の豊作を祈念しております。

【施設見学で来社されました】

七月一日に真津山小三年生の皆さんが、総合学習の施設見学で来社されました。

「久山年神社はいつ出来たんですか？」
「どんな神様が祀られているんですか？」
「神社の仕事で大変な事は何ですか？」

など、可愛らしい素朴な質問にホワイトボードを使いながらお答えしました。

来社記念として、ポケットティッシュや学業成就えんぴつをお土産にお渡ししました。

即位礼と大嘗祭

改元に伴う諸行事として十月二十二日に即位礼が、十一月十四日～十五日に一代に一度の大嘗祭が執り行われます。いずれの行事も日本国最大の慶事です。当日は国旗を掲げてお祝いしましょう。

平成の即位礼の様子

平成の大嘗祭の様子

【七五三詣は久山年神社へ】

十一月十五日は七五三です。いつの時代も子供の健やかな成長を願う親の気持ちは変わらないものです。

当社でも七五三のご祈願を受け付けております。どうぞ地域の子供の七五三は地域の氏神様へお越しください。

【御奉納御礼】

今年三月に、久山町の（有）祐野工務店 様と坂口泰行様より大幟を御奉納して頂きました。祐野工務店 様からは天皇陛下（現 上皇陛下）御即位三十年記念として、坂口 様からはご自身の古稀を記念しての御奉納でした。ここに改めて厚く御礼申し上げ、御報告させて頂きます。

編集後記

三の鳥居前の石柱に木製の灯籠を新設致しました。石柱の上に×型の溝が彫られている事から、おそらく数十年前までは、この石柱の上に木製の灯籠があったと考えられます。長い年月で朽ち落ち、石柱のみが残った状態でした。復元して夜間は自動的に点灯する常夜灯に致しました。

境内に置いている椅子（ベンチ）を増やしました。通常は境内での休憩用として使用し、秋祭りの時などは催し物を見るための椅子として使用していましたが、昨年の例大祭の際に、数が少なく座れない人が多かったためです。どうぞご活用ください。

今後も少しずつ社頭の整備を進めて参ります。

創建 文禄元年
久山年神社

社報「たよしの杜」第4号　令和元年9月15日発行
【発行所】久山年神社社務所
〒854-0066　長崎県諫早市久山町 2275-2
TEL 0957-26-5393 / FAX 0957-47-6888
https://kuyama-toshi-jinja.jp

ホームページ　フェイスブック　インスタグラム　ツイッター